

黎明期日本医学の中心・適塾と近代大阪の疾病



大福寺の大阪府仮病院(明治元年6月)

商都大阪(大阪)は近代黎明期日本の医学の中心でもありました。その拠点は適塾であり、開祖緒方洪庵らによる除痘館で行われた痘瘡(天然痘)予防の促進のみならず、塾頭福澤諭吉をはじめとする適塾出身者による近代日本医学教育の普及、さらに同じく塾頭長と専齋による内務省衛生局を拠点とした衛生行政の推進など、近代医学衛生行政への適塾の貢献はたいへん大きいものでした。

その一方で、近代日本の工業化や都市化の中心でもあった“帝都”大阪は、その後日本を席卷した感染症である結核の蔓延をいち早く経験することにもなりました。本講座では、適塾を含む大阪の医学の歴史をふまえて、医学の中心地・大阪で人々がどのような疾病を経験し—例えば結核が—その後全国に拡大していったのかを時空間分析を交えて考察していきます。

講座日時等

第1回

9月15日(土)
14:00~15:30

講義題目 **「都市の若者と医学教育—適塾を国際的にみる」**
講師 **鈴木 晃仁** 慶應義塾大学経済学部教授

第2回

9月29日(土)
14:00~15:30

講義題目 **「Hygieneと衛生—長与専齋のみた欧米と日本」**
講師 **永島 剛** 専修大学経済学部准教授

第3回

10月13日(土)
14:00~15:30

講義題目 **「日本の工業化・都市化・結核」**
講師 **花島 誠人** 財団法人地域開発研究所主任研究員
友部 謙一 大阪大学大学院経済学研究科教授

コーディネーター **澤井 実** 大阪大学大学院経済学研究科教授

募集要項

定員 50名(申込先着順)

受講料 【一般】4,500円(3回分) ※1回1,500円
【適塾記念会会員】(新規入会者を含む)
3,000円(3回分) ※1回1,000円

修了証書 全3回受講された方には、修了証書を交付いたします。
申込方法 ①裏面「参加申込書」の記載事項をご記入のうえ、FAX
またはE-mailにてお申し込みください。受付確認
後、受講決定の連絡をいたします。
締め切り：9月5日(水)17:00必着
(ただし、定員に達した時点で、締め切らせていただきます。)

②受講決定の連絡の後、受講料を下記の銀行口座に
お振り込みください。なお、振込手数料は、ご本人様
負担とさせていただきます。

口座名 三菱東京UFJ銀行 茨木支店 普通預金 1502217

口座名義 オオサカダイガク シャガクレンケイカ
大阪大学 社学連携課

会場



大阪大学中之島センター
3階 講義室304
大阪市北区中之島4丁目
3番53号
TEL 06-6444-2100

会場までのアクセス

【電車の場合】

阪神本線「福島」駅 徒歩約9分
JR東西線「新福島」駅 徒歩約5分、
地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 徒歩約10分

【バスの場合】

大阪市バス 大阪駅前バスターミナルより
(53系統)
→ 中之島四丁目(旧玉江橋)下車 徒歩1分
(75系統)
→ 田養橋 下車 徒歩2分

お申込み・お問合せ先



大阪大学
適塾記念センター

適塾記念会事務局 URL: <http://www.tekijuku.osaka-u.ac.jp>

住所/〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学会館内 大阪大学適塾記念センター

電話/06-6850-5016 FAX 06-6850-5015 E-mail kinenkai@tekijuku.osaka-u.ac.jp

各講座の内容

第1回

9月15日(土)
14:00~15:30

「都市の若者と医学教育—適塾を国際的にみる」

内容 ■ 近代ヨーロッパにおいて、医療者の訓練・教育の形態は大きく変化して、かつての職人的・徒弟的な形態から、ロンドンやパリにおける病院や、ドイツの大学の医学部のように、都市の教育機関における集団での教育に移行しました。近代の医学教育は都市の若者文化の中で行われるようになったのです。この講座では、このような視点から、適塾という現象を眺めてみたいと思います。

講師紹介 ■ 鈴木 晃仁 慶應義塾大学経済学部教授

1963年生。ロンドン大学(ウェルカム医学史研究所)PhD。イギリスと日本の精神医療の社会史を中心に研究している。著作に、Madness at Home (2006)、Reforming Public Health in Occupied Japan, 1945-52 (2012) など。

第2回

9月29日(土)
14:00~15:30

「Hygieneと衛生—長与専斎のみた欧米と日本」

内容 ■ 適塾で学んだ長与専斎は、岩倉使節団の一員として欧米を視察し、帰国後「衛生」という言葉を考案しました。明治政府の初代衛生局長・長与専斎は、欧米で何をみてきたのでしょうか。また、それを日本でどのように活かそうとしたのでしょうか。当時の欧米における公衆衛生の状況や、明治日本が直面していた伝染病の流行状況などをふまえながら、長与が「衛生」に込めた意味を考えてみたいと思います。

講師紹介 ■ 永島 剛 専修大学経済学部准教授

1968年生。英国サセックス大学院修了(D.Phil.)。イギリス保健政策をめぐる社会経済史が専門。日英比較史・関係史にも関心をもつ。日本に関する論文には、「感染症統計にみる都市の生活環境—大正期東京の腸チフスを中心として」(三田学会雑誌)(2005年)など。

第3回

10月13日(土)
14:00~15:30

「日本の工業化・都市化・結核」

内容 ■ 日本の近代化の過程では、工業化・都市化という大きな社会経済的現象が進行し、現代の日本に通ずる経済発展への道が現れ始めました。しかし、その一方で、都市における生活環境の悪化や、工場の過酷な労働環境など、国民の生命・健康に関わる様々な問題が深刻化したのです。結核はこれら経済的発展の「影」を象徴する疾病であったといえるでしょう。日本最大の工業集積地であり、東京に並ぶ大都市であった大阪は、同時に結核の蔓延地域でもあり、特に紡績女工の結核は大きな社会問題となっていました。本講座では、工業化・都市化の波の中で、多くの犠牲者を出した結核の社会経済的な意味について、大阪と他府県の時空間的比較をもとに考えてみたいと思います。

講師紹介 ■ 花島 誠人 財団法人地域開発研究所主任研究員

1960年生。大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程単位修得。専門は、日本経済史、歴史地理。著書に「ワークショップ社会経済史」(2010年、ナカニシヤ出版、共著)など。

友部 謙一 大阪大学大学院経済学研究科教授

1960年生。博士(経済学)。専門は、日本経済史。著書に「前工業化期日本の農家経済」(2007年、有斐閣)など。

「適塾記念会」入会のご案内

適塾記念会は、1952年に創立され、その主な目的は、緒方洪庵先生や適塾門下生の業績を研究・顕彰すること、そして大阪における学問・研究の伝統を明らかにし、その上に立つ新しい学術・文化の成果を広くお伝えすることにあります。

このような目的のもとに本記念会では、会誌『適塾』、図録『緒方洪庵と適塾』の刊行や適塾門下生調査事業などを行ってまいりました。また、「特別展示」、「適塾講座」及び「適塾記念講演会」を開催し、適塾に関する調査研究の成果を広く一般の方々に公開するとともに、会員の方々に対象とした行事を企画しております。2011年度からは新たに適塾並びに緒方洪庵先生やゆかりの史跡などを巡る「適塾見学会」も実施しております。

ぜひお知り合いの方々をお誘いのうえ、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

◎入会されると

会員には「会員証」と会誌『適塾』(年刊)をお送りします。「会員証」は入会された当該年度(3月末まで)有効で、これをお示しいただければ適塾の参観、「特別展示」の参観が何度でもできます。※大阪大学の学生は、適塾の参観、「特別展示」の参観が無料です(要学生証提示)。また、「適塾記念講演会」「特別展示」「適塾講座」等本会主催行事についてご案内させていただきます。

◎入会されるには

普通会員の会費は、年間1口2,000円で、何口でもお申し込みができます。入会のお申込みは、適塾(TEL:06-6231-1970)または適塾記念会事務局(TEL:06-6850-5016)において受付しております。

適塾講座参加申込書

下に必要内容をご記入の上、FAXにて**06-6850-5015**まで送信ください。

フリガナ				
氏名	<input type="checkbox"/> 適塾記念会会員 <input type="checkbox"/> 非会員			
住所	〒			
電話番号	Eメールアドレス			
受講希望の講義に ○印をご記入ください	全3回を受講する <input type="checkbox"/>	第1回を受講する <input type="checkbox"/>	第2回を受講する <input type="checkbox"/>	第3回を受講する <input type="checkbox"/>